

令和8年8月20日

「シュープロ」記者発表会の登壇者決定！

～「靴（シューズ）」を起点としたアクティブな日常を提案します～

スポーツ庁では、9月2日より、一人ひとりの運動・スポーツの実施促進や健康増進、毎日の活動をよりアクティブなものにしていくことを目的とした取組として、人々にとって身近な「靴（シューズ）」にフォーカスした新たなソーシャルアクション「シュープロ」を推進します。

「シュープロ」始動を記念し、8月27日（木）に記者発表会を行います。

1. 記者発表会の概要（予定）

- 日時：令和8年8月27日（木）13：00～14：45（受付開始 12：30）
- 場所：文部科学省東館3階 講堂
- プログラム内容：
 1. スポーツ庁長官からの「シュープロ」概要説明
 2. シュープロ賛同団体等によるトークセッション
 3. シュープロ賛同団体等によるフォトセッション
 4. スポーツ庁長官による出展ブースの視察
 5. スポーツ庁長官囲み取材

～健康応援プロジェクト～



● 登壇者・ブース出展者（予定）

※企業・団体名は五十音順で掲載しています。

トークセッション

一人ひとりが、日常的に「動きやすい靴」を着用し、アクティブな生活を送る社会に向け、各界の登壇者による議論・提案を行う予定です。

第1部 「シュープロの描く未来」

<ファシリテーター>

・東京大学大学院医学系研究科 健康教育・社会学分野 准教授 鎌田 真光 氏

<パネリスト>

・株式会社アシックス 副社長 千田 伸二 氏

・埼玉県戸田市 市長 菅原 文仁 氏

・GMOメディア株式会社 代表取締役社長 森 輝幸 氏

・株式会社JTB 執行役員 福井 貴裕 氏

・ゼビオホールディングス株式会社 副社長執行役員 中村 考昭 氏

第2部「シェープロ×ライフスタイル」

<ファシリテーター>

- ・東京大学大学院医学系研究科 健康教育・社会学分野 准教授 鎌田 真光 氏

<パネリスト>

- ・株式会社カーブスジャパン 常務執行役員 齋藤 光 氏
- ・香川県 健康福祉部 次長 和田 朝子 氏
- ・株式会社チヨダ 上席執行役員 マーケティング統括本部長 安立 邦広 氏
- ・日本郵政株式会社 主任 風戸 啓希 氏
- ・日本航空株式会社 (調整中)
- ・ミズノ株式会社 アスレティック事業部ライフ&ヘルスマーケティング部部長 中菊 昌之 氏

ブース出展

会場内でシェープロ賛同団体によるブース出展を行います。各団体の特徴や強みを活かし、「各団体×シェープロ」の多様な形を表現します。

<出展団体>

- ・香川県
- ・GMO メディア株式会社
- ・株式会社 JTB
- ・株式会社 SPEED STAR
- ・ゼビオ株式会社
- ・株式会社チヨダ
- ・デサントジャパン株式会社
- ・日本郵政株式会社

3. 取材方法

- 取材申込は、**8月25日(火) 12時まで**にお願いします。
当日の取材を希望する場合は、申込フォームより必要事項を記入願います。
- 入場の際には、名刺及び社名入りの腕章を携帯してください。
- 取材希望が多数の場合は、調整させていただく場合がございます。その場合は個別に御連絡をさせていただきます。
- 入館には事前申請を要するため、取材を希望される場合は必ずご登録ください。
- 各社のカメラ撮影位置の決定は、先着順とします。
- 公務の都合等により時間の変更等の可能性があります。

＜取材申込フォーム＞

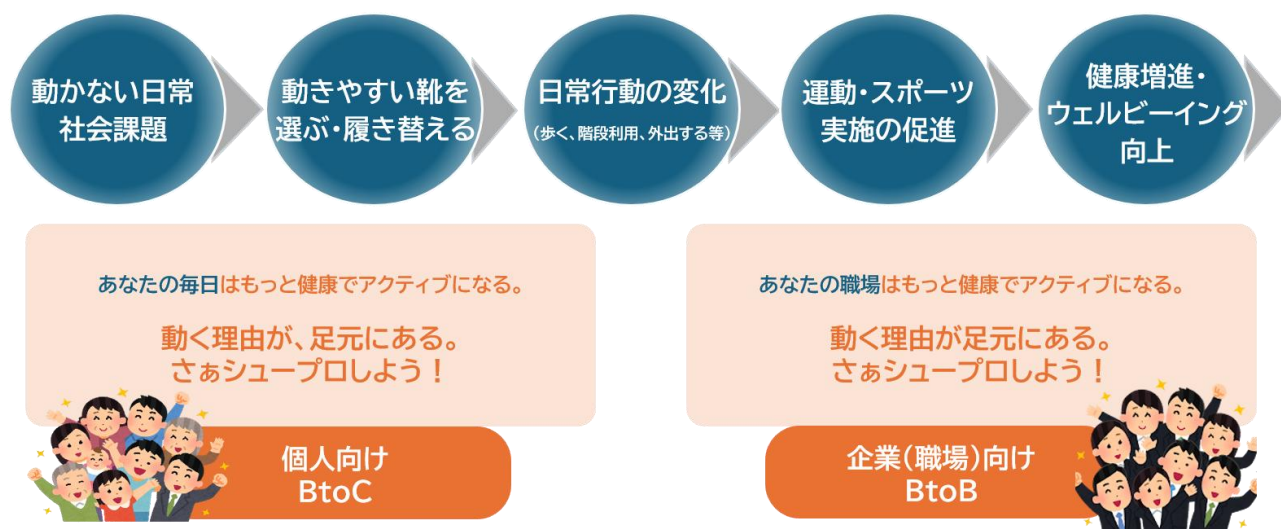
※[こちら](#)をクリックいただくか、QRコードより申込フォームを御確認ください。

※ページ下部の「送信」ボタンを押すと、「回答を記録しました」という画面が表示されます。なお、申込完了メールはシステム上で送信されませんので、あらかじめ御了承ください。
(申込者には、後日資料等をメールでお送りします。)



4. 「シュープロ」とは

「シュープロ」とは、「シューズ」+「プロジェクト」から着想を得た新たな造語であり、運動・スポーツの習慣化・実施率の向上といった社会課題に対する、靴を起点としたプロジェクトです。多様な主体が「動く」日常を自然と増やし、毎日の活動をよりアクティブなものにしていくこと、そして、運動・スポーツの実施促進や健康増進、ウェルビーイングの向上につなげていくことを目指すソーシャルアクションです。



詳細は別紙「シュープロ概要資料」をご覧ください。

＜担当＞ スポーツ庁健康スポーツ課

連携推進係 伊藤 沙紀（内線3939）

庶務係 松尾 安優子（内線2684）

電話：03-6734-3939, 03-6734-2684（直通）

Email: kensport@mext.go.jp

別紙「シュープロ」概要

～健康応援プロジェクト～



supported by



スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

2026年8月7日

スポーツ庁健康スポーツ課

1.コンセプト①

「シュープロ」とは、「シューズ」+「プロジェクト」から着想を得た新たな造語であり、運動・スポーツの習慣化・実施率の向上といった社会課題に対する、靴を起点としたプロジェクトです。一人ひとりをはじめ、職場、地域、企業・団体などの多様な主体が「動く」日常を自然と増やし、毎日の活動をよりアクティブなものにしていくこと、そして、運動・スポーツの実施促進や健康増進、ウェルビーイングの向上につなげていくことを目指すソーシャルアクションです。

動かない日常
社会課題

動きやすい靴を
選ぶ・履き替える

日常行動の変化
(歩く、階段利用、外出する等)

運動・スポーツ
実施の促進

健康増進・
ウェルビーイング
向上

あなたの毎日をもっと健康でアクティブになる。

動く理由が、足元にある。
さあシュープロしよう！

個人向け
BtoC



あなたの職場をもっと健康でアクティブになる。

動く理由が足元にある。
さあシュープロしよう！

企業(職場)向け
BtoB



1.コンセプト②

ビジネスシーンも含めて、スニーカー等の「動きやすい靴」の利用を促進することで、「動く」ことに対する内発的動機づけを刺激し、自然と動きたくなる気持ちを高め、一人ひとりをよりアクティブな日常行動や運動・スポーツ実施促進へと誘っていき、全体の健康増進やウェルビーイング向上に結び付けていく。

例えば、外出機会を増やす、身体を動かす時間を増やす、スポーツを楽しむ、通勤時の階段利用や徒歩通勤、職場での「動きやすい」靴の推奨などの行動変容につながることを期待します。

スポーツの「はじめるきっかけ」を
身近なアクションから生み出す

靴を使う

靴を贈る

靴を購入する

靴を選ぶ

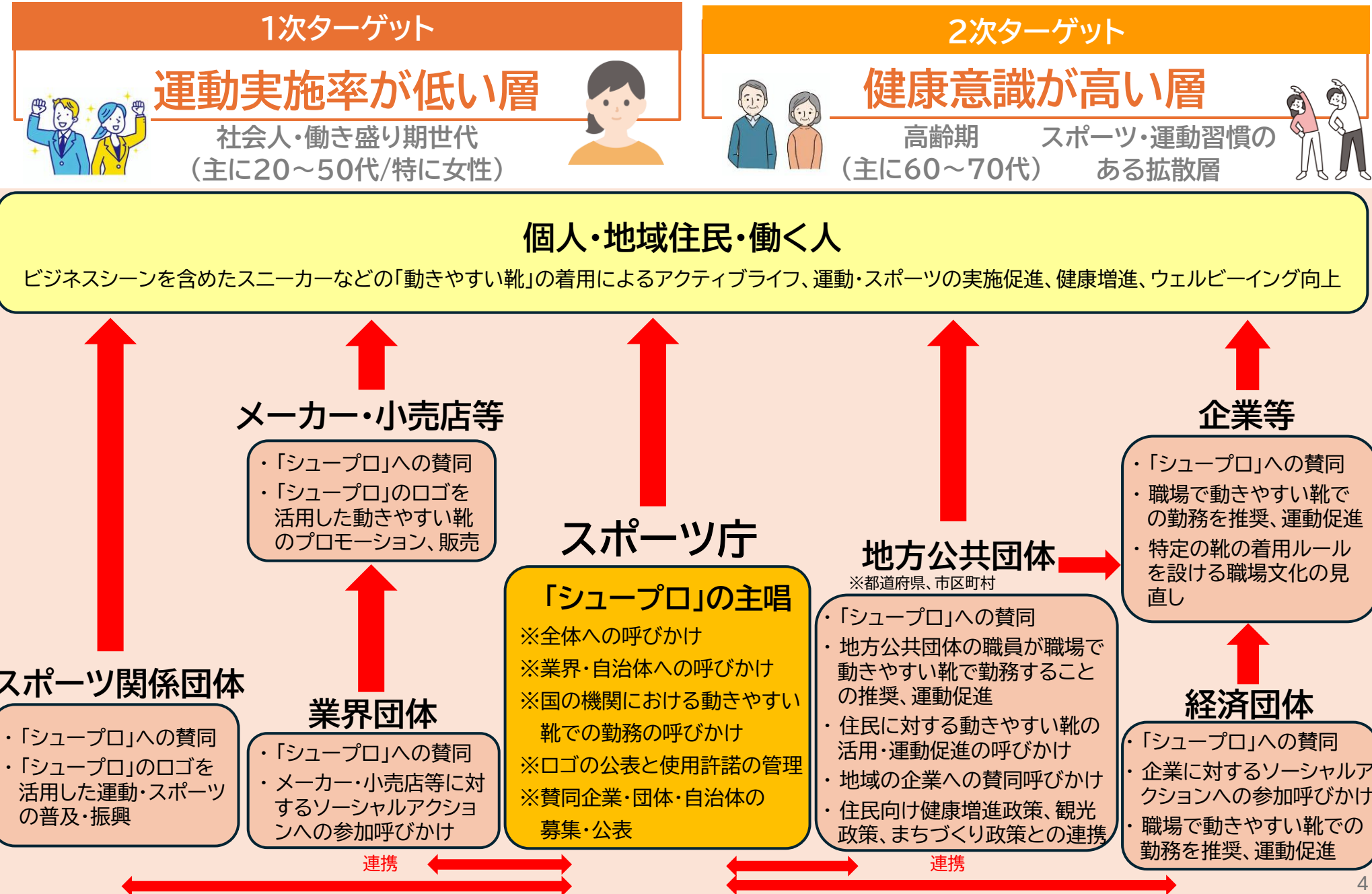
靴を履き替える…

自然な形で運動・スポーツの習慣化に向けた
行動変容を促していくソーシャルアクション

～Choose Move シュープロ～



2. ソーシャルアクション「シュूपロ」の展開イメージ



3.コミュニケーションポリシー

- ✓ 行政からの発信による「信頼性」をベースに
- ✓ 「運動・スポーツ×社会課題」を切り口に
- ✓ 主体は 組織(企業/団体)単位でも、個人単位でも
- ✓ 社会的意義のあるソーシャルアクション

参加行動モデル



使う・贈る・購入する・選ぶ・履き替える …

「はじめるきっかけ」を身近なアクションから生み出す

4.実施スケジュール（予定）

**7月
24(金)**

**賛同団体
参加申込開始※**

**8月
27(木)**

プレスイベント

**9月
02(水)**

キャンペーン開始

**10月
12(月祝)**

スポーツの日

●賛同団体参加申込開始※

●キャンペーン実施準備

●ポスター等掲載準備

●賛同団体によるプロモーション

●店頭での「シュープロ」掲出・動きやすい靴販売等

●職場での動きやすい靴の使用や運動促進等

●自治体での地域住民向け取組実施、観光PR等

※シュープロへの賛同・参加を希望する場合の手続き

スポーツ庁「シュープロ」Webサイトにて申し込いただきました、
シュープロ事務局での審査後、参加承認及びロゴ使用許可いたします。
シュープロに賛同いただいた団体は、
「シュープロ」Webサイト内で団体名を掲載させていただきます。
掲載を希望されない場合はこの限りではありません。

▼「シュープロ」Webサイト



5. キャッチコピーパターン展開

～健康応援プロジェクト～

supported by  スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

～Choose Move シュープロ～

supported by  スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

～動く理由が、足元にある。アクティブな毎日へ～

supported by  スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

～動く理由が、足元にある。アクティブな職場へ～

supported by  スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

～アクティブな旅を応援します!～

supported by  スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

supported by  スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY